

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和7年1月26日

事業所名 心理・発達相談室 こぐま 職員数 10 回収数 10 割合 100 %

		チェック項目	はい (%)	いいえ (%)	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100			
	②	職員の配置数は適切であるか	80	20		マンツーマンの固定担当制のため休みがとりづらい点について、スタッフ全員が了解している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	60	30	10	外部評価をおねがいできるように交渉中
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100			内部、外部の研修、講演会等の告知は積極的に行い、事業所内でも実施。また、各自専門職としての研修に積極的に参加しているが、事業所としての研修は非常勤スタッフも多く、全員が参加できる日程の調整が困難。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	80	20		

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	90	10		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100			
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	90	10		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100			
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				保護者の要望があれば園訪問を丁寧に行っている
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	80		20	保護者の要望に応じ各行政の定めた様式にのっとった情報提供書を作成している。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	90		10	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				職員は所属園の訪問や一般のイベントなどの招待を受けた際、告知、引率などをおこなっている。
	㉙	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会	70		30	

		議等へ積極的に参加しているか				
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100			
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	100			保護者担当者が月2回のグループ面談を実施し、その中でプログラムに基づいたアドバイスを行っている。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100			
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100			
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100			③⑩に同じ
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	90	10		保護者会等はないが、固定メンバーのグループ面談にすることで保護者同士がつながれるよう工夫をしている
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100			
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	90	10		現在、会報は発行されていないが、月2回ある保護者面談で口頭で伝えたり、必要な情報はメールやHPで配信をしている。今後はさらにHPを活用して発信していきたい。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100			
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100			
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか				事業所の特性、利用者の個人情報等の問題があり、その様な機会は設けていない
	非常時等の対応	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100		
④③		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100			年に一度、スタッフのみでは行っているが、回数を増やす予定。
④④		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100			
④⑤		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100			摂食の機会のある5歳児のみ保護者に確認している
④⑥		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	70	30		ヒヤリハットの事例が発生した際には、その日のうちにミーティングを行い、スタッフ全員で情報共有を行っている。
④⑦		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100			行政で行う研修について掲示板にはるなどして周知。その他外部で専門職としての研

					修を積極的に受講している。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか				「やむを得ず身体拘束を行う」という事態が発生しない。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください

## 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和7年1月26日

事業所名 心理・発達相談室 こぐま 保護者等数（児童数）50 回収数 50 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	96%	4%			人数に対して広い空間が確保されている。	プレイルーム56㎡、グループ活動ルーム71㎡に対し、グループのメンバー5人までとしています。一人一人が自分の好きな遊びを十分にできると共に、フラールなどを協力して複雑で大きく長い線路を作る姿も見られます。体を使って様々な大型遊具で遊ぶこともできます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	96%	2%		2%		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	90%	10%			玄関の扉があけにくい。	昨年までは扉が勢いよくしまってしまうので、安全面から開閉速度を落とす修繕をしました。そのため、開けにくく感じるかもしれません。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	92%	6%		2%	建物・設備は古い。	建物の古さは仕方ないのですが、耐震補強等安全面の工事も完了し、設備面では、廊下療育室の床の張替え、トイレ改修など徐々に行っております。
適切な 支援の 提 共	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%				子供のことをよくみてくださり、先生から指摘をされる課題に納得ができる。	児童発達支援計画は児童の担当者だけでなく、スタッフ全員で検討をし、丁寧に作っています。

	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	92%	2%		6%	そもそもガイドラインがよくわからない。	「児童発達支援計画書」は児童発達支援ガイドラインに沿って一人一人の計画を作成し、説明をしております。ガイドラインそのものについて、説明が不十分だったようです。次回からはその説明をしてから個別の説明をしたいと思います。より、ご理解いただけるよう文書を準備したいと思います。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	98%	2%				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	88%	6%		6%		
保護者への説明等	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか						当会の活動上、そのような機会はありませんが、日常的に通園している園がそのような機会となっている
	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	96%	4%				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100%					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	78%	12%	2%	8%	月2回のグループ面談にペアレントトレーニングの抜粋した部分を聞いたことがあるが、定期的にお話を聞く機会があってもよいかもしれない。面談時にどう対応したらよいかアドバイスをいただけるので助かる。	いわゆるペアレントトレーニングは行ってないが月2回のグループ面談ではその内容を踏まえたアドバイスをしています。正式なペアレントプログラムは厳密な制約もあり、ごまのグループで十分に行うことは困難ですが、それに近い仕組みを考えたいと思っています。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	98%	2%			保護者への支援が手厚く、親の心が軽くなる。本当に心強い。	このように思っていた方がたくさんいらっしゃる方がとてもうれしいです。今後も一緒に考えていきましょう。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	76%	10%	6%	8%	父母会はないが、週1回固定メンバーでいろいろな話ができるのがうれしい。	全体の保護者会はありませんが、固定のメンバーだけでなく、いつもと違うメンバーで、保護者の方と一緒に行うアートや音楽療法の「オープングループ」、 「先輩保護者の話をお聞きする会」 「映画会」といった様々な活動を通して、保護者同士の連携を支援しています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	98%	2%			相談しやすい雰囲気です。	月2回のグループ面談がない週も連絡シートに1週間の様子や心配事を記入いただき、翌週に話したり、緊急性のある場合は電話やメールで対応しております。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	96%	4%				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	68%	20%	2%	10%		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	98%	2%				
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	66%	18%	2%	14%	先生方は訓練をしているとのことですが、子供たちや保護者はしていない。	いつもと違うことに対する不安を強く感じるお子さんへの負担を避けるため、こどもの参加はしませんが、担当スタッフが責任をもって安全にお守りできるように全職員で訓練を行ってま

満足度								いました。しかし、所属園での訓練を積んできている年長児にたいしては、実際に訓練に参加していただくよう計画をしています。
	②①	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	62%	16%	4%	18%	②①と同様でわからない	②①と同様の理由から次年度以降は年長児に対しては年に数回実施予定です。また、保護者の方には定期的に説明をするようにしていきます。
	②②	子どもは通所を楽しみにしているか	96%	4%			<p>* こどもにとって、自分を出せる場所。ありがたく思っている。</p> <p>* 毎週、先生に会えるのを楽しみにしている。</p> <p>* 子どもが楽しめる工夫をたくさんしてくださり、感謝です。</p>	お子様方が楽しみにきてくださること、そこからすべてが始まっていくのだと思います。担当者は子供の行動を“困った行動”ではなく、“困っている結果の行動”ととらえることで、子どもたちは自分を否定されることがなく、楽しく過ごすことができます。担当者との1回1回のつみかさねが成長につながっていくと考えております。
②③	事業所の支援に満足しているか	100%				<p>* こぐまのおかげで親子共に日々成長していけると感謝している。</p> <p>* おおむね満足しているが、通級など就学後のことについてももう少し早く情報が欲しかった。</p>	この項目が100%だったことは本当に嬉しいです。しかし、ご指摘いただいたように、就学後の情報が不十分だったり、緊急時の対策について周知に甘さがあったり、この評価表から見落としていた大事なことに気づかせていただきました。ありがとうございました。来年度も改善すべきところについて、緊急性の高いものから、順次対応	

									してまいります。
--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。